

「あおもん」を含む応募作品一覧

愛称	愛称の説明や込められた思い
∞ aomon ∞	青森県内の8つの縄文遺跡とこれからも世界遺産が増えて欲しい願いを込めて∞無限と青森の青、縄文の文で∞aomon∞ ∞をリング2個くっ付いてるモチーフで読みはaomon
AOMON	青森の縄文遺跡、略してAOMON（アオモン）にしました。親しみやすく呼びやすいからです。また、現在青森には『A』からはじまる施設がたくさんあり青森県民・市民、県外、海外の方にも覚えやすいと思います。
AOMON	AO→青森の意味。MON→縄文の文。 ポケモンみたいな親しみやすい名前にしました。
AOMON	縄文（JOMON）と青森（AOMORI）への入口（門）（MON）となるように、との思いをかけました。
AOMON	青森と縄文を掛け合わせて、みんながわかりやすい名前で青森から世界に縄文の文化が広がってほしいという思い。
AOMON	縄文に青森のAを使って、覚えやすく、言いやすい『アオモン』にしました。子供から大人まで親しみやすい愛称にしました。
AOMON	青森の縄文を世界に広める為、外国の方も読みやすくローマ字にしました。
AOMON	施設名の略称としても使用できますし、何より馴染みやすいと思い考えてみました。
AOMON	子供たちにも呼びやすい名前で、親しみやすい名前だと思ったからです。また、青森や縄文という言葉も入っており、かわいい名前だと思ったからです。
AOMON	青森の「AO」と、縄文の「MON」を組み合わせ、青森県内8つの縄文遺跡に関する情報を一体的に発信する施設の意で、名付けました。
AOMON	青森と縄文で青文です。愛称はできるだけ短い方がいいです。
AOMON	青森の歴史、ロマンがたっぷりつまった場所をみんなが呼びやすいように、親しみのあるお名前にしました。
AOMON	青森県のAO、縄文のMON、親しみやすく読みやすいと思いました。
AOMON	AOMORIのAOMO、JOMONのMONを掛けた名前で字の中にはOMOという字があり思、想といった漢字が当てはまり「縄文の時代を想う」ということにも繋がります。
AO-MON	青森と縄文を合わせ、長すぎない、親しみやすい名称にしました。あえてアルファベットにしたのは、外国人観光客にも分かりやすく、伝わりやすいと思ったからです。
ao-mon	aomoriの「ao」、出会いの「会う」、Jomonの「mon」、縄文世界への入り口としての「門」。海外の人にも覚えやすいように。

A-OMON	青森縄文の略。青森県民、市民にはとても馴染みのある名称。駅ビル内の施設なので観光客の方々にも馴染みやすくローマ字表記で。
AOMON 「あおもん」と呼びます	青森県と縄文をかけた造語です。単純だけど覚えやすくシンプルでAOMORIとJOMONの両方を国内外の方が覚えやすいように作りました。
AOMON park -あおもんパーク-	"青 (AO) "もりの縄"文 (MON) "を体験、探索できる散歩道のような"居場所 (park) "になってほしい!
AOMON TRIP	「AO」森で縄「MON」へ「TRIP」しよう! という意味を込めました。模型や縄文時代に入り込む体験、縄文服などを着る体験などをすることで縄文時代に「TRIP」した気分になります。また、北海道・北東北縄文遺跡群を「TRIP」することもできます。
AOMON あおもん	親しみやすい言葉で、青森のあおと、縄文のもんを重ねました。私は実家が大田区で40代で夫の転勤で初めて青森に来ました。是川博物館や三内丸山遺跡など素晴らしく、家族や友人など来た際には連れて行き何度も訪れています。青森を訪れた人や、青森で生まれ育った人には全員行って欲しいです。
AOMON プラザ	青森の「AO」と、縄文の「MON」を組み合わせ、青森県内8つの縄文遺跡に関する情報を一体的に発信する施設の意で、名付けました。
AOMON ようこそ美しい縄文の世界へ	青森県が誇る素晴らしい縄文遺跡群を1人でも多くの人に見てほしい!
AOMON (あおもん)	青森県にある縄文文化を皆に知ってもらいたいから。キャラクターを作って、名前としても知られやすいと思います。
AOMON (あおもん)	青森の『青 (AO)』と縄文の『文 (MON)』を合わせた愛称を考えました。ローマ字で表記することで、愛称が土偶の顔のように見えるようにしました。また、「もん」という躍動感のある響きには、情報発信拠点施設の今後の活躍と発展の願いを込めました。
AOMON (アオモン)	青森 (AOMORI) と縄文 (JOMON) を語呂良く組み合わせました。
AOMONMON'パーク	青森と縄文の一文字ずつ使用し、子供達が親しみやすいゆるキャラっぽいネーミングし、家族で、「今日アオモンモンに行こう!!」と気軽に入館できるような名称をつけました。
AOMONエリア	この愛称は、青森のあお (AO) 、縄文のもん (MON) の2字をローマ字で表記したものです。子どもから大人までの年代が青森の縄文をイメージしやすい呼び名にしました。
AOMONテラス	青森の「AO」と、縄文の「MON」を組み合わせ、青森県内8つの縄文遺跡を明るく照らし、情報を一体的に発信する施設の意で、名付けました。
AOMONの森	「AO」…青森の青、「MON」…縄文の文を表しています。日本の代表的な縄文時代の遺跡を学べる森のような施設のイメージを名前に込めました。
AOMONパーク	青森の「AO」と、縄文の「MON」を組み合わせ、青森県内8つの縄文遺跡に関する情報を一体的に発信する施設の意で、名付けました。

AOMONひろば	青森県と縄文遺跡を組み合わせるみんなに呼んで、親しんで欲しいなと思いこの愛称にしました。
AOMON広場	青森の「A O」と、縄文の「MON」を組み合わせ、青森県内8つの縄文遺跡に関する情報を一体的に発信する施設の意で、名付けました。
AOMORI JOMON Park “あおもん”	外国人にも親しみやすい英語と、日本人が呼びやすい愛称を取り入れました。あおもんは「あもり」と「じょうもん」を組み合わせたものです。
A O-M O N	読み方は「あおーもん」AOは青森、MONは縄文のもん。シンプルで子どもでも覚えやすいのをと考えました。
JOMONfacility あおもん	縄文の施設ということで施設を英語にして国際的にもわかるようにしました。またあおもんはあもりとじょうもんを合わせてあおもんにしました。ひらがなにすることでちいさい子も分かりやすいと思い、これにしました。
SEKAINO 青文	青森の縄文遺跡群を略して青文にし、またそれが世界に広く知られて、みんなが縄文などに興味を持ってくれば良いなという思いでSEKAINOにしました。
あおーもん	青森と縄文。新しい魅力に会おう。
あおーもん	青森の「あお」と縄文の「もん」、ここで「会おう」の意味をこめて「あおうもん」。親しみやすさを表現できるように表記を「あおーもん」にしました。県内外からここに集まって縄文について学んだり、たくさんの方に来ていただいたりできたらという願いをこめました。
青文	青森と縄文の歴史をつないだ言葉です。
あおもり縄文インフォ基地・あおもん	歴史や遺跡の堅苦しさを、かわいさで払拭する感じにしました。
あおもり縄文ステーション AOMON	駅ビルであることを踏まえ、センターなどではなく「ステーション」としました。また「AOMON」という名前は、「青森（AOMORI）」と「縄文（JOMON）」の組み合わせであることに加え、多くの人を訪れる駅であることから青森と縄文の世界への「門（MON）」となるようにという思いから「AOMON」と名付けました。
あおもり縄文センター あおもん	青森にある縄文遺跡群情報発信拠点施設を上記の愛称で呼ぶときに短くて親しみやすい愛称のため呼びやすいのではないかと思い上記のような愛称を提案しました。
あおもり縄文ひろば AOMON	やはり、一目で見て青森県と縄文という情報がわかる名前にしたかったのと、あおもんという覚えやすい名前にすることにより、大人から子供まで親しみやすい、愛される施設になればいいなと思いこの名前を考えました！
あおもり縄文ひろば あおもんテラス	青森と縄文を掛け合わせた、親しみやすく覚えてもらえやすいあおもんという言葉を作りました。
あおもり縄文ひろばAOMON	青森県内の縄文文化をたくさんの方に知って欲しいという思いから、AOMORIとJOMONをかけて短くし、呼びやすいネーミングにしました。また、施設内にジオラマやパネル・映像上映、体験ブースがあることから、『あおもりの縄文を見るもん聞くもん学ぶもん！』と誰もが楽しく学び、愛される施設になってほしい思いを込めました。

あおもり縄文ふれあいパーク あおもん	まず、青森の縄文遺跡や縄文の文化を訪れたすべての人が体感、体験できることを表現したいと思いました。また、「ふれあい」や「パーク」という言葉から、気軽に訪れて楽しむことができる場所であることも表現しています。そして「あおもん」という言葉は、青森の青と縄文の文をとり、青森の文化であり縄文の文化でもあることを1つにまとめました。「あおもん」は小さな子どもたちから大人までのすべての年齢の人が覚えやすく、印象に残るような言葉だと思っています。
あおもり縄文みちしるべ あおもん	この場から青森県内の遺跡へのアクセスだけではなく、県外や地元の人達にも縄文を知るきっかけとなり、その御先祖様たちの辿ってきた道を知る事で、誇りとなり、これからも遺跡が大切にされればという思いが込められています。あおもんは、青森縄文の略で呼びやすさと可愛らしさで決めました。
あおもり縄文広場 AOMON	青森といえば、縄文といえば、を混ぜて覚えやすくした名前です。覚えてもらえなければ意味がないから。
あおもり縄文体験ひろば あおもん	青森のあおと、縄文のもんを合わせており、多くの人に青森の縄文について知って欲しいという思いを込めています。
あおもり縄文博物館 アオモン	縄文時代の平和で穏やかなイメージを、アオモンという可愛い名前で表現しました。子どもから大人までみんなの興味が湧くような素敵な空間になれば良いなと思います！
あおもり歴史広場 あおもん	縄文時代の青森県の人々の暮らし方などを色々な人に知ってもらえる広場になって欲しいから。
あおもん	青森と縄文を組み合わせ、呼びやすく、親しみやすく、印象に残りやすいように考えました。青森を誇る三内丸山遺跡をより多くの方に興味を持っていただけるように、歴史や文化に触れていただきたいという願いを込めています。また海外の方にも発音しやすい愛称であることも魅力だと思っています。
あおもん	青森の「あお」と縄文の「もん」をとって考えました。ゆるキャラのように短く、呼びやすい愛称にすることで分かりやすく、親しみやすい場所になって欲しいという思いを込めました。
あおもん	青森の「あお」と縄文の「もん」を合わせて考えました。ゆるキャラのように短く、呼びやすい愛称にすることで分かりやすく、親しみやすい場所になって欲しいという思いを込めました。
あおもん	ここに行って「あお」もりのじょう「もん」に出会おう(で「あお」う)という意味を込めました！
あおもん	青森×縄文で略してあおもん、子どもから大人まで覚えやすく言いやすい名前にしました。
アオモン	青森県の「青」と縄文時代の「文」をくみあわせて作りました。青森のことと縄文遺跡のことをたくさんの人に知ってもらいたいと思って考えました。アオモンというキャラクターもいたらかわいいなと思いました。
あおもん	青森の（あお）と縄文の（もん）で作って、小さい子からおじいちゃんおばあちゃんまで覚えてもらいやすい4文字で書きました！
あおもん	青森と縄文を組み合わせました。シンプル・親しみやすい・覚えやすいの三つに重点を置きました。多くの人に親しまれる場所になってほしいです。

あおもん	青森の縄文施設ということで頭文字をとってわかりやすく呼びやすいあおもんにしました。
あおもん	青森と縄文をまぜたもの。よびやすい。
あおもん	青森にあった縄文時代が現代まで繋がっているから。
あおもん	青森の青と縄文の文を合わせて、子供にも親しみやすくひらがなで、あおもんにしました。
あおもん	縄文と青森を混ぜて親しまれやすい平仮名で表記しました。子供から大人まで青森の深い歴史について知ってもらえるように分かりやすい名前を付けました。県外から来たお客さんにも一目見て覚えられ、そんな名前を目指しました。青森の魅力をもっともっと多くの方に知ってもらえればと思っています。
あおもん	僕は縄文時代がすごく好きです！
アオモン	青森の「アオ」と、縄文の「モン」を組み合わせ、青森県内8つの縄文遺跡に関する情報を一体的に発信する施設の意で、名付けました。
アオモン	青森の「アオ」と、縄文の「モン」を組み合わせ、青森県内8つの縄文遺跡に関する情報を一体的に発信する施設の意で、名付けました。
あおもん	青森の「あお」と、縄文の「もん」を組み合わせ、青森県内8つの縄文遺跡に関する情報を一体的に発信する施設の意で、名付けました。
あおもん	青森のあおと縄文のもんをかけあわせ、小さい子どもでも呼びやすく親しみやすいと思ったから。
あおモン	言いやすい、覚えやすい、わかりやすい、シンプル、誰でも思いつく感じ
あおもん	青（あお）森の縄文（もん）からです。たくさんの方が、「集い、楽しむ」空間となるように、「覚え易く、呼び易い」ものと考えました。
アオモン	若者中心に親しみやすく覚えやすい愛称がいいなと思ったので「アオモン」というアオモリとジョウモンを組み合わせた愛称にしました。この愛称で青森だけでなく他の地域にも青森の縄文遺跡の魅力が広まれば良いなと思っています。
あおもん	青森の青と縄文の文を合わせて作ったもの、かわいくて、親しみやすく、呼びやすい名前になるよう意識した。
あおモン	青森県の縄文遺跡群なので、略してあおモンです。親しみやすく子供達にも言いやすい言葉にしました。青森県の観光スポットの一つとなり、より多くの人々に青森県を訪れてほしいと思っています。
あおもん	「青森県」と「縄文」の響きを併せた造語です。子供から大人まで、青森の縄文文化に親しみが持てるよう、敢えて短くわかりやすい愛称にしました。
あおもん	青森の「あお」と縄文の「もん」を合体しました。単純ですが、国内に限らず、多くの来訪者が覚えやすく親しみやすい。また、ひらがなでやわらかい雰囲気があります。
アオモン	青森にある縄文遺跡群に関する施設だから。

あおもん じょーもん みるもん	青森の縄文を見て知れる施設なので、『もん』で呼びやすく覚えやすい名前にしました。みんなに愛される場所になってほしいです。
あおもん！どっき土器プラザ	「あおもん！」は青森と縄文を合わせて響きが良く親しみやすい語呂にしたものです。また、施設概要を見ると沢山の体験が出来るようになっており、とてもわくわくして楽しそうだと思います。実際に施設に足を運んだ時はきっと「どきどき」すると思います。その気持ちと縄文土器の「土器」を掛け合わせて「どっき土器」という言葉をつくりました。青森と縄文と土器、そして施設に足を運んだ時の「どきどき」とした気持ち、全てを合わせた『あおもん！どっき土器プラザ』なら、きっと皆さんに親しまれる楽しい施設になると思います。
あおもん！縄文から届ける未来への手紙	青森のあおと縄文のもんであおもんと考えました。また縄文の文にはふみと読んで書物などの意味があるので縄文からの手紙として未来に届いていけばいいなと思いました。
あおもん8ー触れて学んで楽しんでー	あおもんエイトとよみます。8つの縄文遺跡群の魅力をより多くの人に知って欲しい、縄文に親しんで欲しいという思いを込めてつけました。
あおもんいせき	青森の遺跡ということを知りやすく和やかな雰囲気を与えたいと思いこの名前にした
あおもんゲート	この施設が、青森と縄文遺跡を知り、行き、好きになってもらう入り口となる役割を果たすという思いをこめました。
あおもんじょ	「青森のジオ」の言葉をなまらせました。青森（あお）と縄文（じょ）の間に、青森駅つまり青森のもん（もん）を入れてみました。「もん」は、同時に青森で縄文の世界や魅力に入り込む入口でもあり、「あおもん」は青森の人の意でもあり、「じょ」は、縄文の世界ジオラマの意
あおもんじょパビリオン	青森の縄文パビリオンという意味を込めました。弾むような響きで、ウキウキしてくれるといなという願いも反映されています。
あおもんスクエア	「あお」もりのじょう「もん」遺跡を知ってもらうために手軽に訪れることの出来る広場として「あおもんスクエア」と名付けました。青森県民だけでなく県外や外国から来てくれた方も気軽に集まって縄文時代について知れる広場のようなそんな場所になるといいなと思います。
あおもんテラス	青森の「あお」と、縄文の「もん」を組み合わせ、青森県内8つの縄文遺跡を明るく照らし、情報を一体的に発信する施設の意で、名付けました。
あおもんど〜じょ〜	青森の「あお」と縄文の「もん」をかけてみました。そしてど〜じょ〜は縄文時代を知っていただく入り口になりますようにという意味を込めた道場とウェルカムの意味を込めたどうぞをかけて親しみのある名前にしてみました。
あおもんどキ土器！ひろば	この愛称にした理由は、青森の縄文の発展を願い、ひろばを通じてドキドキとを感じる学びを得るようにしたいと思い、この愛称にしました。

あおもんネット	短く覚えやすいので、ネットを通して色々な人にパッと覚えてもらえるようにこの名前にしました。あおは青森のあお、もんは縄文のもん、ネットはネットワークからきています。まず県内や県外、国内外たちに知ってもらうにはネットを通して興味を持ってもらう必要があるので、青森とたくさんの人たちをつなぐ架け橋としてネットを名前にいれました。たくさんの人に愛される施設になってもっと青森が盛り上がってほしいです。
アオモンぱーく	青森の「アオ」と、縄文の「モン」を組み合わせ、青森県内8つの縄文遺跡に関する情報を一体的に発信する施設の意で、名付けました。
あおもんパーク	青森の「あお」と、縄文の「もん」を組み合わせ、青森県内8つの縄文遺跡に関する情報を一体的に発信する施設の意で、名付けました。
あおもんパーク	今や青森の魅力となっている縄文遺跡を大人から子供まで覚えやすく親しみやすそうな名前をつけることで沢山のの人に認知していただけるようにという願いを込めてつけました。
あおもんパーク	「青」森の縄「文」遺跡群のことを知る施設。いろんな人がここに来て、楽しみながら青森のこと、縄文遺跡のことを知ってもらいたい。みんなが覚えやすく呼んでもらえる名前にしたくてあおもんパークにしました。
あおもんひろば	呼びやすさとみんなに覚えてもらいやすいシンプルで親しみのある愛称にしました。
アオモンひろば	青森の「アオ」と、縄文の「モン」を組み合わせ、青森県内8つの縄文遺跡に関する情報を一体的に発信する施設の意で、名付けました。
あおもん広場あずましい〜	青森と縄文が合わさり、どんな年の人もある広場、そして気持ちのよい場所になってほしいという思いであずましいを使いました。
あおもんプラザ	青森の「あお」と、縄文の「もん」を組み合わせ、青森県内8つの縄文遺跡に関する情報を一体的に発信する施設の意で、名付けました。
あおもんらぼ	「あおもんらぼ」は、「あおもん」で青森と縄文を、そして「らぼ」はラボラトリー（実験室）を意味します。この愛称は、青森の縄文遺跡を実験室のような場と位置づけ、歴史や文化を楽しみながら学ぶ拠点を表現しています。
あおもんりー	青森の"もり"と縄文の"もん"をかけて「あおもんりー」にしました！もんりーは、オンリー(ワン)の発音とかけています
アオモン広場	青森の「アオ」と、縄文の「モン」を組み合わせ、青森県内8つの縄文遺跡に関する情報を一体的に発信する施設の意で、名付けました。
あおもん広場	青森の「あお」と、縄文の「もん」を組み合わせ、青森県内8つの縄文遺跡に関する情報を一体的に発信する施設の意で、名付けました。
あおもん広場	「青」森と縄「文」を組み合わせ、親しみやすい名前にしました。
あおもん広場	青森県の縄文を発信する広場なので

あおもん発信所	あおもん＝青森＋縄文 ひらがな多めで、小さな子でも読みやすいように
あもっき 『青文っ木』	青森の青、縄文の文、そして遺跡の柱には木が使われていることから『木』を入れてあもっきという名前を考えました。呼びやすく、愛される名前となることを願っています！
おいでよ！AOMON	わかりやすく、たくさんの人に親んでもらえればいいなと思いました。
ドキドキ！AOMON	娘が考えたドキドキあおもん ふと、出した名前でしたが、ドキドキは土器 あおもんはローマ字で書くときjomonの頭文字を変えただけ、偶然の一致でしたが可愛い響き！と思い投稿しました
みんなこいへ！ 青森縄文発信センター あおもん	津軽弁を使って親近感のある呼び名にしてみました。あおもんはあお(もり)の(じょう)もんということであおもんにしてみました。
開けてみよう！あおもんの扉	駅隣接ということなので、青森へようこそ！青森の扉を開けてくれてありがとう！という意味合いと、縄文への関心を持ってもらいたいということ、実際に遺跡を見に行きたいというきっかけになれば良いなどという想いを扉を開けるという言葉で表現しました。青森のあおと縄文のもんで分かりやすく、覚えやすいあおもんが今増えている外国のお客様でも発音しやすく覚えやすいかなと思い、あおもんの扉という言葉がいいと思いました。長く愛される愛称を一生懸命考えました。ご検討よろしく願いいたします。
胸がドキドキ！あおもり縄文の館～あおもん～	「胸がドキドキ！あおもり縄文の館～あおもん～」には、本施設の来訪者が、模型展示や映像上映、縄文時代の体験を通して、胸が踊るような経験「ドキドキ（土器土器）する経験」をしてもらいたいという願いが込められています。また、あおもり縄文の館を略した愛称「あおもん」をサブタイトルとし、かわいくて親しみやすい印象をつけ、馴染みやすい施設となることを願っています。
古（いにしえ）のAOMON	古き良き時代の文化を引き継ぐという想い、青森県のAOと縄文のMONのかわいい響きが親しみやすいと思いました。
青もんのじょう報の森	スケッチから木のぬくもり、天井のデザインなど、自然を大切にしている空間と感じた。青森の縄文（略して、青もん）の事を教えてくれる森、だなあ～。アナグラムで「青森のじょうもんの報」
青森×縄文ミュージアム AOMON	青森と縄文をローマ字表記した際に重なる文字が多いことに着想を得て考えました。親しみやすさのあるAOMON(あおもん)に学術的な価値を感じさせるミュージアムという言葉を使うことで長く愛される施設になってほしいと願いを込めました。
青森じょうもんにわ あおもん	子供から大人まで親しみやすい施設になってほしいという思いから名付けました。
青森縄文ミュージアム「あおもん」	青森の縄文文化の様子や遺跡の情報をそこに行くと恐縮された施設、子供も楽しみながら学べる施設ということで、簡単に呼びやすい名前がいいと思い応募しました。
青森縄文館 あおもん	あおもん は呼びやすく親しみやすい造語です

青森縄文情報発信広場・あおもん	青森らしさ、縄文らしさを含んだ施設名「青森縄文情報発信広場」。これを略して「あおもん」にしました。青森ということ、縄文ということが伝わりやすくていいかなと思いました。親しみやすさ、呼びやすさを重視しました。
青森縄文発信クラブ あおもん	青森のAomoと縄文のJomonのスペルが似ていてあおもんっていう響きが可愛いから好かれそう。硬い雰囲気の名前だと近寄り難いのでクラブという若い世代が聞き慣れている言葉を使うことで親近感をもって足を運び易いかなと思ってつけました！！縄文Love
青文	青森の歴史を伝えたいため
青文（あおもん）PRセンター	青森県にある縄文を知ってもらう施設なのでなるべく分かりやすく、そして楽しそうな愛称がいいなと思いあおもんと付けました！私自身も縄文が好きだし青森県も好きなので少しでもお役に立てればなと思い応募しました！
青文パーク(あおもんパーク)	青森縄文パークを親しみやすく、略して呼べる名前を考えました。
蘇る過去 あおもん！	蘇る過去 あおもん！
縄文シティあおもん	青森県が縄文の都市で、様々な歴史のある土器や土偶が発掘され、シャコちゃんを始めここから日本は元に海外へ発信する拠点として、皆様に愛されたら良いと思い、この愛称をつけました。宜しく願います。
縄文スクエア あおもん(AOMON)	青森と縄文をかけて。老若男女に親しみやすく覚えやすいものがよいと思い考案した。
縄文どきどきの森 あおもん	「縄文どきどきの森 あおもん」の「縄文どきどき」の部分は、胸が高鳴っている状態を表すオノマトペ・「ドキドキ」と、「縄文」という時代区分の名前の由来でもある、縄目の文様がついた土器・「縄文土器」の二つの意味を持ちます。さらに「あおもん」の部分には、「青森が誇る縄文遺跡群が歩んできた歴史、縄文時代の文化そのものに対する人々の興味や関心が森のように広がるように」という願いを込めました。この施設が私たち青森県民はもちろん、世界中の縄文文化を愛する人々の、大きな知識の森の発信地となることを祈っています。
縄文の語り部 アオモン	青森と縄文の2文字ずつをとって名付けました。どの世代にとっても馴染みやすい名前になったと思っています。ジオラマやレプリカの展示やAR、子供たちが楽しめるコーナーなど縄文の文化を伝えるのに適した施設であるため、「縄文の語り部」という言葉にぴったりだと思っています。家族連れでも、一人でも様々な体験を交えながら、縄文について興味を持ってもらえる素敵な施設となり、国内外に親しまれるのを願っています。
縄文の森 あおもん	みんなに覚えてもらいやすい、親しみやすい愛称で青森と縄文の両方を入れた名前にしました。
縄文の森「アオモン」	青森の「青」、縄文の「モン」を組み合わせた。誰もが呼びやすい。
縄文の輪 青もん	縄文と今をつなぐ輪にしました。青もんは、青森の青と、縄文のもんが合わさって、呼びやすく、親しみやすいと思いました。

縄文ひろば AOMON (あおもん)	AOMONのAOは青森のあお、MONは縄文のもんを表しています。縄文遺跡群と聞くと、ちょっと堅苦しい印象があるため、言いやすく柔らかいイメージにしたいと思い、考えました。地元の方も県外、海外の方も、年代問わず気軽に立ち寄って縄文遺跡のことを知るきっかけとなる場所になってほしいと願っています。
縄文ムラ あおもん	施設の紹介写真は、まるで神々しい栗の大木に集い、交流をしているように見えました。かつての人々も同じように、寄り合い交流して発展し、縄文文化を築き上げたかもしれません。心寄せ合い、和を広げ人々が支え合い生きていく、そういう場所を縄文ではムラと呼び、文化交流の発信受信するかけがえのない拠点になっていたのだと思います。そして現在、青森は世界に唯一のムラを作ったのだと感じました。青森から世界へ、世界から青森へ。その名を『縄文ムラ・あおもん（【青】森縄【文】）』と名付けました。
縄文愛を育む森 アオモン	青森の縄文遺跡に関する情報を発信する施設として、多くの人々に縄文についての愛を育ててほしいという意味とみんなが集まりやすいような可愛らしく呼びやすい、青森と縄文をあわせた「アオモン」という名前を組み合わせることでこの愛称にしました。
縄文広場あおもん	青森の青と縄文の文で「あおもん」です。呼びやすい名前の方がいいと思って考えました。
縄文時代にタイムスリップ！ あおもん	当時の動物や縄文服を着ることが出来るため、タイムスリップという言葉を入れました。青森の縄文遺跡群を発信するので、あおもりの「あお」とじょうもんの「もん」をつなげて、「あおもん」にしました。
縄文体験館『AOMON』	縄文時代の体感、体験が出来る施設の為、『縄文体験館』を筆頭にして親しみやすさで青森と縄文を合わせた呼び名で『AOMON』アオモンとしました。マスコットキャラが出来た場合も『アオモン』って名前が可愛いと思います。
縄文発信ひろば あおもん	縄文遺跡を大人も子供も親しめるものにしたいと思い、名前を考えました。可愛い名前です。
縄文文化歴史拠点施設 AO-MON(あおもん)	呼びやすくて、覚えやすい名前だからです。
北国縄文広場あおもん (North County Aomon)	北国らしい誰でも馴染めてわかりやすい地名が良いと思い応募しました